

# 月影

平成十六年三月一日発行 (第四号)  
紫雲山 常林院

## 春の彼岸会

境内にある彼岸桜のつばみも、ふっくらと膨らみ始めました。春の  
お彼岸の季節がやって参りました。

いつもなら、お彼岸の法要の後、お説教をして頂くのですが、今回は、尺八・三味線・琴の演奏会を催したいと思います。

どうぞ皆様お気軽に、ご家族そろってお越し下さい。  
※尚、演奏会の詳細につきましては別紙をご覧下さい。

## 彼岸会の御案内

三月二十一日(日)常林院本堂にて

午後一時より 彼岸会法要

午後二時より 邦楽綴(尺八・琴・三味線演奏会)

出演 島田 道雪

島田 雅楽恭

# つき かげ 月影とは

とうてら みなさま むす じほう な こんかい つきかげ  
当寺と皆様を結ぶこの寺報の名を、今回から「月影」とさせて頂き  
ました。さて月影とは・・・。

しゅうそほうねんしようにん おうた  
宗祖法然上人の御歌です。

つきかげ  
月影のいたらぬ里はなけれども

ひと  
ながむる人のこころにぞすむ

つき ひかり  
「月の光はどんなところもへだてなく照らしているけれども、その  
ひかり こころ よ うつく ひかり  
光に心を寄せて、美しい光だなあ、と仰ぎ見る人の心の中に、  
うつく つき ひかり かがや  
ますます美しく月の光が輝きわたる」という意味ですが、法然  
しようにん つき ひかり あみだによらい みころ  
上人は月の光を阿弥陀如来の御心にたとえ、「阿弥陀如来の光明は、  
ひと つつ  
すべての人を包みこんでおられるのですが、お念仏を称える人の心に  
あみだによらい じひ ひかり やど  
ますます阿弥陀如来の慈悲の光が宿るのです」と歌い示されました。

## しんぎんしききねんし 晋山式記念誌

おそ しんぎんしき  
遅くなりましたが、晋山式のパンフレットを同封致しました。どう

らんくた なお ちようないだんかさま ねはんこう ととき わた  
ぞご覧下さいませ。尚、町内檀家様については涅槃講の時にお渡し  
たします。